

事前復興と防災教育への取組みによる巨大自然災害への対応

平成30年7月豪雨災害、令和元年台風19号災害、令和2年7月豪雨災害と地球温暖化の進展に伴って毎年のように甚大な豪雨災害が発生しています。また千年に一度とも言われる地震の多発期でもあり、この10年だけでも東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震が発生しています。

四国も豪雨災害の多発地であり、また南海トラフ巨大地震の発生も現実味を帯びてきています。本シンポジウムでは、巨大自然災害にいかに対応するのか、ソフト面を中心に考えてみたいと思います。

お忙しいこととは存じますが、参加頂きますようご案内申し上げます。

なお、愛媛県内の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、開催を中止する場合があります。

記

主催 愛媛大学防災情報研究センター

共催 一般社団法人国立大学協会、一般社団法人四国クリエイティブ協会

日時 令和3年11月25日(木) 13:00-17:00

会場 愛媛大学南加記念ホール

(松山市文京町3番 市内電車日赤前下車北へ100m、愛媛大学正門のすぐ右側の建物)

定員 会場100名、Zoomによるライブ配信併用

申込み 氏名、所属、連絡先(住所、あればE-mail、TEL)、参加方法(会場又はオンライン)を明記の上、11月22日(月)までにお申し込みください。

(申込先: E-mail: nakajima@cee.ehime-u.ac.jp FAX: 089-927-8141 中島まで)

参加費 無料

内容

13:00-13:10

開会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター長 バンダリ・ネトラ・プラカッシュ

13:10-14:55

第I部 南海トラフ巨大地震に対する事前復興デザイン

1. 基調講演

四国地方整備局における南海トラフ地震への取り組み

国土交通省四国地方整備局統括防災官 兵頭 英人

2. パネルディスカッション「大規模自然災害に備える事前防災・迅速な復旧復興」

平成30年7月豪雨災害の復興への取り組み 愛媛県土木部技術監 古本 一司

高知県における南海トラフ巨大地震への事前復興検討

愛媛大学防災情報研究センター特定教授(第一コンサルタント) 松本 洋一

愛媛県南予地域における事前復興デザインの展開

愛媛大学防災情報研究センター特定教授 山本 浩司

15:05-16:50

第II部 若者を育て地域を守る全世代型防災教育の展開

1. 基調講演

国土強靱化と防災教育 愛媛大学防災情報研究センター特命教授 矢田部 龍一

2. パネルディスカッション「防災教育による地域と学校の強靱化」

防災教育がめざす人材育成の姿、地域の姿

愛媛大学防災情報研究センター特定教授 中尾 順子

マイタイムラインを活用した松山逃げ遅れゼロプロジェクト

松山市総合政策部防災・危機管理課市民防災担当課長 芝 大輔

大学生による防災教育実践活動

愛媛大学教育学部生（学生防災リーダークラブ）

木原 琴香

16:50-17:00

閉会挨拶

松山市防災総合政策部危機管理担当部長

金澤 英雄

以上

(新型コロナウイルス対策)

入口での検温、手指の消毒、マスク着用、参加者間の距離確保等、感染対策にご協力ください。

発熱、咳症状等、体調が優れない場合及び感染拡大地域を訪問した場合は参加をご遠慮ください。

(その他)

・学内の駐車場は利用できません。公共交通機関又は近隣の駐車場をご利用ください。

・本シンポジウムは、建設コンサルタンツ協会の CPD 単位の申請予定です。単位認定をご希望の方は、申し込み時にご連絡ください。後日、受講証明書等を送付いたします。

また、オンライン（Zoom）参加をされる CPD 単位認定をご希望の方は、当日、画面上で参加確認を行いますので、1人1台のパソコンを使用し、Zoom に氏名の表示と映像（本人の顔）の表示をお願いします（会社等で複数人が1台のパソコンで参加した場合や Zoom 上に本人の映像が表示されていない場合は、本人確認ができないため、受講証明書の発行はできません）